

令和5年度 第3回沖縄県がん診療連帯協議会 離島・へき地部会議事要旨

開催日時：令和5年10月17日（火）14：15～15：40

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：15名

西原政好（県立宮古病院）、松村敏信（県立八重山病院）、新崎博美（県立宮古病院）、有賀拓郎（琉球大学病院）、有銘みどり（北部地区医師会病院）、石田浩子（県立八重山病院）、江藤甚之助（やいまゆんたく会）、砂川洋子（ゆうかぎの会）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、戸板孝文（県立中部病院）、友利寛文（那覇市立病院）、外間早紀子（沖縄県保健医療部 健康長寿課）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）、吉田幸生（県立中部病院）、

欠 席：2名

赤松道成（北部地区医師会病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）

陪 席：2名

南とも子（琉球大学病院がんセンター）、小波津真紀子（沖縄県保健医療部 健康長寿課）

【報告事項】

1. 令和5年度 第2回離島・へき地部会議事要旨について

松村敏信副部長より資料1に基づき、第2回離島・へき地部の議事要旨について説明があった。修正などあれば事務局まで連絡するよう説明があった。

2. 沖縄県がん計画（協議会案）について

増田委員より資料2に基づき、沖縄県がん計画（協議会案）について国のがん計画の新しいロジックモデル・指標、委員から出た意見の最終案の説明があった。

3. 離島・へき地における疾患別対応状況について

増田委員より、半年に1回更新しており、10月に更新を行った離島・へき地における疾患別対応状況についての説明があった。

4. 離島患者等支援事業について

健康長寿課小波津氏（陪席員）より、令和4年度の離島患者等支援事業について、市町村ごとに補助実績額、補助対象者数の説明があった。

増田委員より令和5年度までの離島患者等支援事業の資料を作成してほしいとの要望があった。

5. その他

特になし。

【協議事項】

1. 事業計画について

増田委員より本年度の事業計画について説明があった。4つの初期アウトカムについて達成するために具体的にどのようなことを協議するのか意見をいただきたいとのことであった。

戸板委員より離島やへき地と本島のアクセスの問題（患者さんの通院コスト、専門医、スタッフの不足）を解消する手段の一つとして、オンライン診療や Web カンファレンスが挙げられると思われる。これらのシステム（法制度的なものも含めて）構築に向けた予備的な情報収集、問題点等を協議してはどうかとの意見があった。

吉田委員より地域癌診療病院が拠点病院と連帯して標準治療を行うために本島の病院での治療やセカンドオピニオンという選択肢を患者さんに適切に提供するためにがん相談支援室への紹介の割合を増やすという意見を述べた

2. 療養場所ガイド改訂について

肝細胞がんについては、必要最小限の文章で、わかりやすく記載したほうがよいと意見があった。

西原委員より第1回の離島・へき地部会において療養場所ガイド改訂に関して個々の疾患に対して詳しい内容を書くべきだとの意見が多数であった。しかし、ガイド作成に関わって頂いている患者会の代表やほかの一般の人の意見を参考になるべく疾患の説明は簡略化して作成を行っている。疾患の詳細についてはがんセンターなどのホームページに添付して個々の患者さんが調べやすいような配慮を行っているとの説明があった。

松村副部長より、ある程度話が進んだ後又、進捗状況を伝えてほしいと要望があった。

3. 次回の日程について

松村副部長より次回の開催日程について説明があった。

第4回開催日：令和6年1月16日（火）14：00～15：00

田盛委員より開催時間の1時間では十分に審議が出来ないため、2時間程度行って頂きたいと要望があった。

増田委員より委員の皆様は忙しいので1時間にしてあるが、検討してみますと回答であった。

4. その他

離島・へき地部会の開催を終える事もどうかとの意見が増田委員から発信された。

田盛委員より、患者会を代表して委員を務めている立場からして、この離島・へき地部会を閉じてしまうと、離島の患者の意見を申し出る場所が無くなるので、部会は無くして欲しくないとの意見があった。